

令和2年度 近畿地方発明表彰 文部科学大臣賞他3件を受賞

シスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：家次 恒）は、このたび公益社団法人発明協会が主催する近畿地方発明表彰において、特別賞である文部科学大臣賞1件、発明奨励賞3件受賞しました。

地方発明表彰は、各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、実施されている優れた発明やデザインを生み出した技術者・研究開発者を顕彰するもので大正10年より続く歴史ある表彰です。

【受賞内容】

- (1) 特別賞： 文部科学大臣賞

受賞発明の名称： 造血幹細胞の測定方法（特許第4806334号）

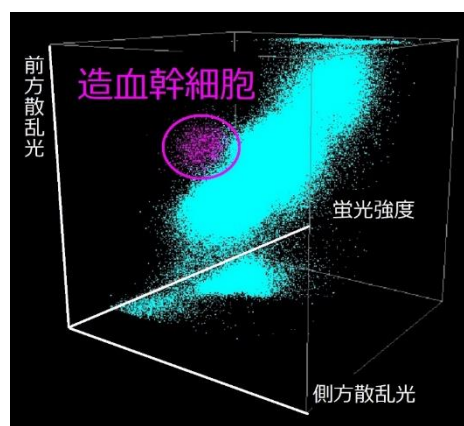
受賞者： 吉田 歩、辻 智悠、小国 振一郎

発明内容： 本発明は、白血病やリンパ腫の治療法である造血幹細胞移植に用いるための造血幹細胞の測定方法に関するものです。

本発明は、血液試料に含まれる血球を収縮させ、核酸を蛍光色素で染色後、フローサイトメータ上で光照射することによって生じる散乱光情報と蛍光情報とに基づき、造血幹細胞数を迅速、正確に分類・計数することができます。

本発明により、ドナーからの造血幹細胞の的確な採取開始時や採取完了時の判断が可能となり、患者、ドナーの身体的負担及び医療現場の負担を大きく低減し、造血幹細胞移植による白血病やリンパ腫の治療拡大に貢献します。

「文部科学大臣賞」の受賞企業として、「実施功績賞」（代表：代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒）を受賞しました。



本発明を用いて分類された造血幹細胞

(2) 発明奨励賞

① 受賞発明の名称： 検体分析装置（特許第 5806902 号）

受賞者： 若宮 裕二、奥崎 智裕

発明内容： 本発明は、試薬を使用して検体を分析する検体分析装置に関するものです。

本発明では、日々の試薬使用量から使用する試薬量を算出し、試薬項目ごとのユーザーが補充すべき量を視覚的に分かり易く表現することで、ユーザーの試薬の補充作業を効率的に進めることができます。

② 受賞発明の名称： 検体処理装置（特許第 5984713 号）

受賞者： 稲垣 淳、木村 智史、有吉 俊輔、中塚 恆、西田 勇

発明内容： 本発明は、血液等の検体を処理する検体処理装置に関するものです。

本発明は、検体処理装置を自動起動させた場合において、操作受付における所定の条件が満たされなければ、装置を自動的にシャットダウンできる検体処理装置であり、オペレーター不在時の不要な電力消費の削減や装置の思わぬトラブルを回避することができます。

③ 受賞発明の名称： 塗抹標本作製装置（特許第 6182130 号）

受賞者： 大前 勇一郎、品部 誠也、関塚 康介

発明内容： 本発明は、血液等の塗抹標本スライドの作製を自動的に行うための塗抹標本作製装置に関するものです。

本発明は、3 軸直交アームを用いたシンプルなスライド搬送機構を備えることにより、スライドガラスを 1 枚ずつ搬送することができ、これにより、従来技術に比べ塗抹標本の作製効率が向上し、塗抹標本作製のオーダーの発生から塗抹標本が作製されるまでに要する時間を短縮できます。

【「近畿地方発明表彰」 受賞歴（過去 5 年分）】

・令和元年度

「特別賞：文部科学大臣賞」 疾患の早期発見に有用な尿検体分析装置

「発明奨励賞」 血液凝固、線溶機能検査用 FDP 測定試薬

「発明奨励賞」 検体処理システム

「発明奨励賞」 試料分析装置

・平成 30 年度

「特別賞：特許庁長官賞」 白血球の正確かつ簡易な分類・計数方法

「発明奨励賞」 検査効率を向上した尿検査システム

「発明奨励賞」 小型の光学検出器を搭載した血球分析装置

「発明奨励賞」 試料の攪拌性能を向上したキュベット

・平成 29 年度

「特別賞：近畿経済産業局長賞」 検査の生産性、質を向上した血球分析装置

「発明奨励賞」 試薬を容易に交換可能な血液凝固分析装置

「発明奨励賞」 検体ラックを高速に搬送可能なシステム

「発明奨励賞」 ALP を用いた高感度免疫測定方法

- 平成 28 年度
 - 「特別賞：文部科学大臣賞」 迅速・高精度な血小板測定方法
 - 「発明奨励賞」 検量線に ID を付与して管理する分析装置
 - 「発明奨励賞」 臨床検査装置の故障を予知する管理方法
 - 「発明奨励賞」 変異型ドックリンポリペプチド

- 平成 27 年度
 - 「特別賞：特許庁長官奨励賞」 検体分析装置
 - 「発明奨励賞」 細菌の検出方法及び試薬
 - 「発明奨励賞」 フローサイトメータ
 - 「発明奨励賞」 血液分析装置

以上